

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 高齢者への情報提供のあり方について (40分)</p> <p>少子高齢化が叫ばれ始めて相当な年月が経ちますが、少子化対策は、将来の国力と言うべき人口の増加対策であり、喫緊の課題です。手をこまねいている時間はありません。</p> <p>一方で、少子化問題と反して増加の一途をたどるのが高齢者です。最近、高齢者問題との言葉を見聞きしますが、[問題]と題するのは甚だ失礼な事であります。我が国や我が市の今日があるのは、これら高齢者の方々のおかげであり、感謝に堪えません。</p> <p>そして、今から20年後の2040年代には、いわゆる団塊ジュニアの世代が高齢者への仲間入りをして、全人口の約三分の一以上を占めることになるとの推計がなされております。</p> <p>今後、人口の多くを占める高齢者の方々へ生活上での利便、安心サービスやサポート等の各種情報の提供サービスが重要となっていきます。これらのサービスは、既に公的団体をはじめ、さまざまな団体が行っておりますが、同様なサービスを複数の団体が手掛けており、依頼先の選定に困ってしまう場合があるとのことを時々耳にします。</p> <p>例えば、「子育てガイドブック」のような公的団体情報を一目瞭然に一冊にまとめた物の作成など、これらのバラバラの情報の一元化を図ることへの本市の見解を、以下、伺います。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市社会福祉協議会、鶴ヶ島市シルバー人材センターのほか、各地域支え合い協議会での主な高齢者サービスの種類と利用件数は。</p> <p>(2) 高齢者福祉課への主な問合せや相談内容は。</p> <p>(3) 各団体の高齢者に対する各種サービスの情報提供方法は。</p> <p>(4) 生活サポートの上での課題や問題点は。</p> <p>(5) ガイドブックにした情報提供方法への見解は。</p>	市長